

ジャパン・レターアーツ・フォーラム主催ワークショップ  
レターカッティング入門 初心者コース

■ 講師 ゴードン恵美

■ 会場

●大阪会場 弁天町市民学習センター 美術室 (大阪市港区)

<http://www.osakademanabu.com/bentencho/>

●東京会場 勤労福祉会館 工芸室・美術室 (豊島区池袋)

[http://www.toshima-mirai.jp/center/e\\_kinrou/page.html](http://www.toshima-mirai.jp/center/e_kinrou/page.html)

■ 開催日時

大阪 2012 年 7 月 14 日 (土) ~ 7 月 16 日 (月・祝)

東京 2012 年 7 月 20 日 (金) ~ 7 月 22 日 (日)

レッスンの時間 両会場共に 10:00 ~ 16:30

■ 参加費 34,000 円 ( 石代 1 枚分込み)

■ 初心者 (初参加者) 定員

大阪会場 5 名

東京会場 5 名

■ 申込方法

e-mail のみの申込みとし、必要事項を記入したメールを下記アドレスにご送信ください。パソコンからのメール受信可能な状態であれば、携帯電話のメールでの申込みも可能です。

1) 件名に「ゴードン恵美 WS 東京会場」又は「ゴードン恵美 WS 大阪会場」と記入して下さい。

2) 本文に、氏名( ふりがな)、住所、電話番号、連絡を希望するメールアドレス、初参加と記入。

\*お申込みにお送りいただいたメールには自動返信メールが送信されます。届かない場合にはご連絡ください。

■ 申込締切日 5 月 27 日(日)

但し、定員に空きがある場合には、その後の申込みも受付けます。空きの有無は J-LAF ウェブサイトでお知らせします。<http://j-laf.org/>

■ 送信先 [workshop@j-laf.org](mailto:workshop@j-laf.org) (WS に関する質問、ご意見もこのアドレスまで)

#### ■ 持ち物

レイアウトパッド、ペーパータオル 1 ロール、カッターナイフ、HB の鉛筆 2 本、カラダッシュ(CARAN d'ACHE)社の水彩用色鉛筆の白を 2 本、(入手できない場合は、日本製の水彩用鉛筆でもかまいません) 定規、三角定規、セロテープ、マスキングテープ、白または黄色などの淡い色のカーボン紙またはチャコペーパー(文字を石に写すため) 1 枚、エアークッションまたはプチプチの包装用ビニール(石を保護するため) 100 cm x 100cm を 2 枚

#### ■ ゴードン恵美 プロフィール

1995 年にカリグラフィーを東京で習いはじめる。翌年、トーマス・イングマイヤー氏のワークショップを受け、海外でカリグラフィーを学ぶ事を決意する。2 年の準備期間を経て、97 年に渡英、98 年にローハンプトンのカリグラフィー・ディグリー(学位)コースに入学する。2001 年にこのコースを卒業後、2002 年にケンブリッジにあるレターカッティング工房であるカードゾ・キンダスリー・ワークショップ(Cardozo Kindersley Workshop)に入門する。2006 年に長女出産のため退職するまでの 4 年半勤務する。現在は独立してレターカッティングとカリグラフィーの仕事続ける。2002 年、CLAS の Brian Walker 賞受賞、同年から 2004 年まで SSI の Advanced Training Scheme のコースに参加。その他多数のカリグラファー、レターカッティングのワークショップやレクチャーに参加。

#### ■ クラス概要

石に手彫りで字を彫るレターカッティング "Letter Cutting" (またはレターカービング "Letter Carving" と呼ばれる) は、現在も英国国内だけではなく、ヨーロッパの国々で続けられている伝統工芸です。この入門コースではヴィーカット "V-Cut" と呼ばれる彫り方で文字を彫ることを学びます。このヴィーカットは、ローマ帝国時代に既に手法が確立され、当時の碑石に使われていたローマンキャピタルの文字のほとんどはこの彫り方で彫られています。

イギリスではエドワード・ジョンストン(1872-1944)の教え子だったエリック・ギル(1882-1940)がそのローマ時代の伝統的手法を彼の石碑の作品に多用し、彼のワークショップで培われたレターカッティングの精神、技術、そして教法は彼の弟子達を通じて今なお多くの職人の中に息づいています。この入門コースはそのギルの弟子であったデービッド・キンダスレー(1915-1995)の教法で主に進められます。

また、コース内では文字のレターフォーム、デザイン等を参加者同士で検討し合うクリティーク(Critique) と呼ばれるローハンプトン大学で採用されていた教法を導入し、生徒それぞれの

作品をさまざまな側面から向上を目指すとともに、作品作りにおける生徒の自発性を伸ばしていきます。

#### ■ 初心者コースの目的

石の彫り方だけでなく、道具や石の取り扱い方にも重点を置き、職人としての心構えを体感していただきます。

#### ■ 初心者コースの内容

- 1 日目 石と道具の取り扱い方 彫り方の注意点 各自持参したデザインのクリティーク
- 2 日目 試し彫り デザインが終了した生徒さんは、デザインを石に写す作業
- 3 日目 デザインを石に写す作業が終了した生徒さんは、石を彫り始める

#### ■ 参加資格

ローマンキャピタルをペンや平筆で書いた事がある方、またはローマン体のタイプフェイス（例えば Palatino, Optima など）を鉛筆でドローイング出来る方。

#### ■ 今回使う石の大きさ

15 x 15 x 2 cm または、10 x 22.5 x 2 cm

#### ■ WS 当日までの宿題

ワークショップで彫りたい石のサイズを上記のサイズから選びそのサイズに合わせてローマンキャピタルで1 単語（例えば” ORIENT” など）を上下左右のマージンを考えながらレイアウトペーパーに書いて来てください。だいたいメインステムの幅が 5 mm ぐらいで、文字の高さ（エックスハイト）がメインステムの幅の 8 ~ 10 倍（4 cm ~ 5 cm）の文字を目安としてください。もちろん、基本的にはその他の大きさの字や数字でも構いません。

#### ■ 道具貸し出し

道具をお持ちでない方には、鑿とダミーと呼ばれるハンマー、そして鑿を研ぐための砥石は貸し出しいたします。

ワークショップ終了後にお持ち帰りになりたい方には、鑿とダミーについては、実費にて（2つ合わせて約 1 万 5 千円）お分けできます。

\* 参加者決定方法やキャンセルに関する詳細はウェブサイトをご覧ください。 <http://j-laf.org/>